

大青工業 JICA 事業に採択

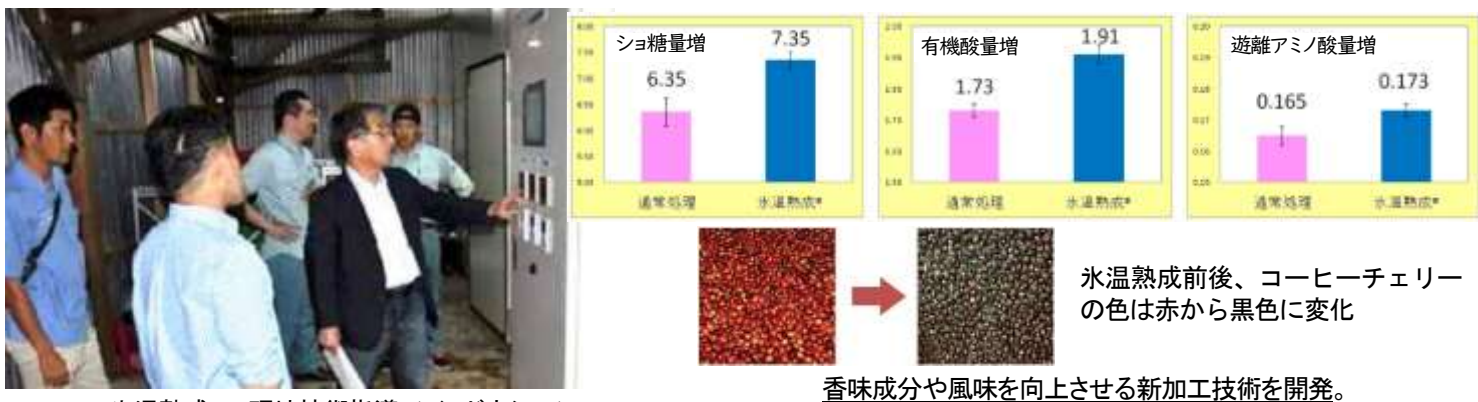
氷温熟成技術を活かし、ケニアのコーヒー農家の所得向上を目指す

国際協力機構（JICA）は9月18日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 基礎調査」において大青工業株式会社（青森県青森市、鳴瀬正彦代表取締役社長）が提案する「氷温熟成技術を活用したポストハーベストにおけるコーヒー豆等の品質と市場価値向上に関する基礎調査」（ケニア）を採択しました。

世界的なコーヒーブームによりコーヒー豆の消費量が急激に拡大している中、コーヒー豆の生産地として知られるケニアでは、気候変動によりコーヒー生産地の栽培条件が悪化し、生産量の減少や品質低下による価格の下落が起きており、コーヒー農家の生計を圧迫している状況です。

大青工業株式会社では、「氷温」という新たな技術を確立し、農水産物の品質向上や長期鮮度保持等による高付加価値化を実現しました。本技術をコーヒー豆に適用することで安定した品質の向上が可能です。

同社では、この技術を活用してケニアのコーヒー豆の付加価値を向上させ、栽培に従事するコーヒー農家の生計向上を目指すべく、基礎調査を通じてその可能性を調査する計画です。



コーヒー氷温熟成で、現地技術指導<インドネシア>

本事業は、「基礎調査」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2020年度第一回は本年6月に公示を行い、13件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査（中小企業支援型）2020年度第一回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 民間連携事業
 TEL: 022-223-4772 FAX: 022-227-3090 Mail: thicjpp@jica.go.jp

みちのくから世界へ！

JICA 東北ウェブサイト
<https://www.jica.go.jp/tohoku/>